

次世代
パンデミックに
備える感染症の文明史
井上 栄未だ人類は感染症を
克服などしていなかった。
新たな脅威に備えるために
正しい知識を身に付けたい。養老孟司
Tomohiko YōrōISBN978-4-909355-44-7 C0047
四六版/上製本/320ページ
¥2,420 (税込)コロナ禍の記憶を
語り続ける
パンデミックの現在地

・基調講演 井上 栄

『将来の日本人の感染症はどうなる?』

井上栄著『次世代パンデミックに備える 感染症の文明史』（株式会社エイアンドエフ）の2024年3月刊の出版を記念して『グローバルネット』9月号「ホットレポート」コーナー掲載の井上栄論文『将来の日本人の感染症はどうなる?』をもとに、メディアセミナー（オンラインを含む）を開催いたします。次世代のパンデミックに備えるために、感染症の文明史について、自然環境と人間環境の二つの側面から地球環境の現在地に関する学びを深めます。セミナーの内容は『グローバルネット』（GN）11月号または12月号に掲載の予定。

○日時:

10月25日(金) 13:30~17:30

出版記念セミナー（講演と質疑応答）

○会場:

地球環境パートナーシッププラザ (GEOC)

国連大学本部ビル (UNハウス) 1階

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5丁目53-70

基調講演

井上 栄 『将来の日本人の感染症はどうなる?』

質疑応答

坂本有希 地球・人間環境フォーラム

佐原 勉 寿活財団設立準備会

著者プロフィール

1940年山梨県生まれ。東京大学医学部卒業、同大学院博士課程修了。国立予防衛生研究所（予研）ウイルス中央検査部室長、国立公衆衛生院衛生微生物学部長、予研感染症疫学部長、国立感染症研究所（旧・予研）感染症情報センター長を経て、2000～2012年大妻女子大学で公衆衛生を教える。国立感染症研究所名誉所員、大妻女子大学名誉教授。

【著書】『文明とアレルギー病——杉花粉症と日本人』（講談社1992年）、『感染症の時代——エイズ、O157、結核から麻薬まで』（講談社現代新書2000年）、『母子手帳から始める若い女性の健康学』（大修館書店2012年）、『ノロウイルス現場対策改訂第2版』（共著、幸書房2014年）、『感染症——広がり方と防ぎ方 増補版』（中公新書2020年）

○参加費 出版記念会 4,000円 (サイン本含む) オンラインセミナー 1,000円 交流懇親会 1,000円

○主催 『次世代に備える — 感染症の文明史』 出版記念セミナー開催実行委員会 寿活財団設立準備会 一般財団法人地球・人間環境フォーラム

○特別協力:



○共催:



次世代パンデミックに備える

感染症の文明史 井上 栄

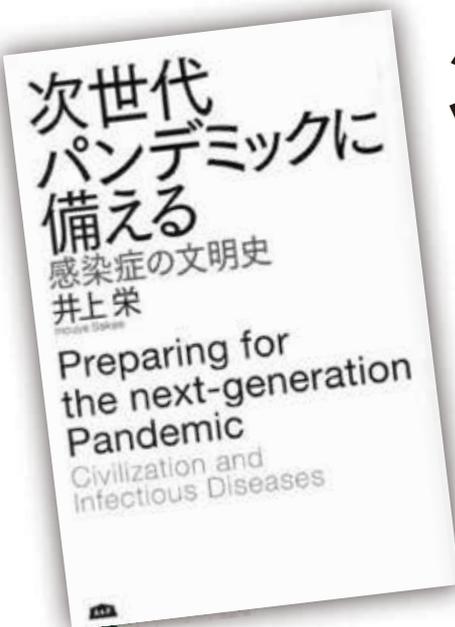
ISBN978-4-909355-44-7 C0047

¥2,420 (税込)

感染症の興亡の歴史を振り返る

コロナ出現以降、伝染病／感染症に関してたくさん本が出版されている。恐怖を煽るようなものも多い。本書が、見えない微生物と都市文明のなかに住んできた人間との関係の歴史について知ること、次世代パンデミックに備える社会の在り方を読者に考えてもらう契機になれば幸いである。

本書「まえがき」より



未だ人類は
感染症を克服などしていなかった。
新たな脅威に備えるために
正しい知識を身に着けたい。

推薦 養老孟司

- 【主な内容】
- 第一章 文明と疫病 — 腺ペスト
 - 第二章 産業革命期の伝染病 — コレラ
 - 第三章 清潔化社会の伝染病 — ポリオ
 - 第四章 梅毒とエイズ
 - 第五章 薬剤耐性菌との闘い
 - 第六章 ワクチンはなぜ効くのか？
 - 第七章 二十一世紀の伝染病 — コロナ
 - 第八章 将来の感染症を考える

正しい知識が、
次の感染症からあなたと
家族の生命を守る！
目に見えない病原体が人から人へ
どのように広がり、その伝播を
防ぐのに有効な手段はなにか、
過去の感染症を知り
未来に換えるための一冊。

お申し込み

●講演会・セミナーへ申し込みの方は、以下の QR コードを読み取るか、右上のアドレスにアクセスすると画像のような画面が表示され、そこから申し込むことができます。

<https://www.gef.or.jp/news/event/241025pandemic/>

